

## 新しい年度を迎えるにあたって

～地域医療連携室より～



中国労災病院 地域医療連携室長  
副院長 榎野 新

今年に入ってから全国的に荒れ模様の天気が続いていましたが、やっと春らしい季節が巡ってきました。

連携医療機関の皆さまにはいかがお過ごしでございましょうか。

当院では、新しい年度を迎えて、地域医療連携室の体制が少し変わることになりました。今回の連携ニュースでは、新しく赴任するスタッフを中心に、地域医療連携室のメンバーをご紹介します。

新しいメンバーにかわって暫くは不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが、一同、地域医療連携に邁進して参ります。何とぞよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

当院は、平成 13 年に地域医療連携室を立ち上げてから 13 年目、平成 19 年に登録医制度を始めから 7 年目になります。お蔭様でこの間に 206 医療機関の 296 名の先生方に連携登録医として登録していただきました（平成 26 年 3 月 5 日現在）。

また、当院では新患者さんの紹介率が 75～80 %、逆紹介率が約 70 %となっています。言い換えれば当院の新患者さんの殆どが連携医の先生方からの紹介患者となっています。

その間、逆紹介率も高くなってきました。これは、連携医の先生方から紹介していただいた患者さんの病状が安定した段階で、紹介元の先生にお返しすることを原則としているためと思います。

平成 25 年度から、広島県地域医療再生計画「ひろしま医療ネットワーク（HM-net）」における情報開示にも力を入れてきました。昨年度は、患者基本情報、検体検査結果、処方・注射情報、放射線画像情報（画像および読影結果）の開示を行ってきましたが、今年度も更に情報開示を充実させていきたいと考えています。

これを機会に、是非 HM-net の情報参照医療機関として参加していただきますようよろしくお願い致します。

平成 26 年度も、地域医療連携に更に力を入れていきたいと思っております。

ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 3 月 10 日